



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月10日

上場会社名 エスペック株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6859 URL <https://www.espec.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 雅昭  
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート統括本部長 (氏名) 大島 敬二 TEL 06-6358-4741  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	26,526	△11.0	1,330	△52.7	1,491	△50.1	943	△55.0
2020年3月期第3四半期	29,805	3.0	2,812	0.5	2,986	4.2	2,096	0.8

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,508百万円 (△31.3%) 2020年3月期第3四半期 2,195百万円 (51.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	41.27	—
2020年3月期第3四半期	91.71	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	55,118	43,221	78.4	1,890.23
2020年3月期	57,461	42,731	74.4	1,868.77

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 43,221百万円 2020年3月期 42,731百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	22.00	—	46.00	68.00
2021年3月期	—	10.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	38.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想については、本日（2021年2月10日）公表いたしました「2021年3月期通期連結業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,500	△11.6	2,000	△46.6	2,100	△46.6	1,400	△50.3	61.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想については、本日（2021年2月10日）公表いたしました「2021年3月期通期連結業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名） 、 除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P.9「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	23,781,394株	2020年3月期	23,781,394株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	915,593株	2020年3月期	915,230株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	22,865,991株	2020年3月期3Q	22,863,503株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想・配当等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく変動する可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により経済活動が停滞し急激に悪化いたしました。中国など一部では経済活動の正常化が進み、輸出や個人消費は緩やかな回復基調となりました。しかしながら、欧州や米国に加え日本においても感染が再拡大するなど先行き不透明な状況が継続しております。

当社の主要顧客におきましては、デジタル化関連の投資は堅調に推移いたしました。その他の市場につきましては設備投資の抑制傾向が継続いたしました。

当社の取り組みといたしましては、移動制限などの制約を受ける中、オンラインでの営業活動を推進するとともに、5GやIoT、自動車の自動運転・電動化に関する市場を中心に活動を強化いたしました。

こうした結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、前年同四半期比で受注高は18.6%減少し27,448百万円、売上高は11.0%減少し26,526百万円となりました。利益面につきましては、売上高の減少により営業利益は52.7%減少し1,330百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は55.0%減少し943百万円となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (2020年3月期)(百万円)	当第3四半期連結累計期間 (2021年3月期)(百万円)	増減率(%)
受注高	33,705	27,448	△18.6
売上高	29,805	26,526	△11.0
営業利益	2,812	1,330	△52.7
経常利益	2,986	1,491	△50.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,096	943	△55.0

セグメント別の経営成績

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の経営成績

	受注高 (百万円)	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)
装置事業	22,340	20,745	1,073
サービス事業	4,567	4,114	191
その他事業	778	1,848	64
連結消去	△237	△182	1
計	27,448	26,526	1,330

<装置事業>

環境試験器につきましては、国内市場では汎用性の高い標準製品、カスタム製品ともに受注高・売上高は前年同四半期比で減少いたしました。海外市場では、東南アジアや韓国の売上高は前年同四半期を上回りましたが、中国、欧州、米国は減少いたしました。

エナジーデバイス装置につきましては、二次電池評価装置、燃料電池評価装置いずれも低調に推移し、前年同四半期比で受注高・売上高ともに減少いたしました。

半導体関連装置につきましては、主にメモリ関連の投資があり受注高・売上高ともに前年同四半期比で増加いたしました。

こうした結果、装置事業全体では、前年同四半期比で受注高は16.5%減少し22,340百万円、売上高は15.0%減少し20,745百万円となりました。営業利益につきましては、売上高の減少により55.8%減少し1,073百万円となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (2020年3月期)(百万円)	当第3四半期連結累計期間 (2021年3月期)(百万円)	増減率(%)
受注高	26,755	22,340	△16.5
売上高	24,408	20,745	△15.0
営業利益	2,429	1,073	△55.8

<サービス事業>

アフターサービス・エンジニアリングにつきましては、受注高は前年同四半期並みとなりましたが、売上高は減少いたしました。

受託試験・レンタルにつきましては、主に受託試験が低調に推移し、前年同四半期比で受注高・売上高ともに減少いたしました。

こうした結果、サービス事業全体では、前年同四半期比で受注高は4.5%減少し4,567百万円、売上高は10.8%減少し4,114百万円となりました。営業利益につきましては、売上高の減少や原価率の悪化により56.9%減少し191百万円となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (2020年3月期)(百万円)	当第3四半期連結累計期間 (2021年3月期)(百万円)	増減率(%)
受注高	4,780	4,567	△4.5
売上高	4,610	4,114	△10.8
営業利益	443	191	△56.9

<その他事業>

環境保全事業および植物工場事業を中心とするその他事業では、植物工場の大型受注があった前年同四半期との比較で受注高は66.6%減少し778百万円となりました。売上高につきましては、同大型案件の売上計上により前年同四半期比で95.6%増加し1,848百万円、営業利益は64百万円となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (2020年3月期)(百万円)	当第3四半期連結累計期間 (2021年3月期)(百万円)	増減率(%)
受注高	2,331	778	△66.6
売上高	945	1,848	95.6
営業利益及び営業損失(△)	△63	64	—

※ 当社グループにおいては、お客さまの予算執行の関係により、契約上の納期が第2・第4四半期連結会計期間に集中する傾向が強いため、四半期別の売上高をベースとする当社グループの経営成績には著しい季節的変動があります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は55,118百万円で、前連結会計年度末と比べ2,342百万円の減少となりました。その主な要因は、前連結会計年度末に計上された売上債権の回収に伴う受取手形及び売掛金ならびに電子記録債権の減少4,220百万円、受注残高の増加に伴う仕掛品などのたな卸資産の増加1,233百万円、投資その他の資産の増加1,286百万円などによるものであります。また、負債は11,896百万円で前連結会計年度末と比べ2,832百万円の減少となりました。その主な要因は、営業活動制限に伴う固定費の減少等によるその他流動負債の減少1,520百万円、仕入債務の支払いに伴う支払手形及び買掛金ならびに電子記録債務の減少1,183百万円などによるものであります。純資産は43,221百万円で前連結会計年度末と比べ489百万円の増加となり、その主な要因は、その他有価証券評価差額金の増加560百万円、為替換算調整勘定の減少48百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の連結業績予想につきましては、2020年11月13日に公表した予想数値から修正しております。また、2021年3月期通期の連結業績が前回公表した予想数値を上回る見込みとなりましたので、期末配当予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2021年2月10日）公表の「2021年3月期通期連結業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,378	12,866
受取手形及び売掛金	14,808	11,030
電子記録債権	2,595	2,152
有価証券	3,402	3,902
商品及び製品	1,172	1,683
仕掛品	1,768	2,499
原材料及び貯蔵品	2,140	2,131
その他	2,197	1,540
貸倒引当金	△35	△38
流動資産合計	41,428	37,768
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,509	4,866
土地	4,443	4,583
その他(純額)	3,677	2,276
有形固定資産合計	11,631	11,725
無形固定資産		
のれん	382	318
その他	314	314
無形固定資産合計	696	633
投資その他の資産	3,704	4,990
固定資産合計	16,032	17,349
資産合計	57,461	55,118
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,651	2,312
電子記録債務	4,120	3,276
短期借入金	304	318
未払法人税等	311	161
賞与引当金	400	151
役員賞与引当金	17	—
製品保証引当金	212	151
受注損失引当金	2	2
その他	4,755	3,234
流動負債合計	12,775	9,606
固定負債		
長期借入金	368	315
退職給付に係る負債	56	68
役員株式給付引当金	79	146
役員退職慰労引当金	4	4
資産除去債務	14	21
その他	1,430	1,733
固定負債合計	1,953	2,290
負債合計	14,729	11,896

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,895	6,895
資本剰余金	7,120	7,120
利益剰余金	30,325	30,278
自己株式	△1,180	△1,181
株主資本合計	43,160	43,113
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	930	1,490
土地再評価差額金	△662	△662
為替換算調整勘定	△535	△583
退職給付に係る調整累計額	△161	△136
その他の包括利益累計額合計	△428	108
純資産合計	42,731	43,221
負債純資産合計	57,461	55,118

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	29,805	26,526
売上原価	19,034	17,401
売上総利益	10,771	9,125
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	2,477	2,501
賞与引当金繰入額	44	44
役員株式給付引当金繰入額	23	55
製品保証引当金繰入額	102	87
貸倒引当金繰入額	—	4
のれん償却額	47	46
その他	5,262	5,054
販売費及び一般管理費合計	7,959	7,794
営業利益	2,812	1,330
営業外収益		
受取利息	19	14
受取配当金	153	81
貸倒引当金戻入額	43	—
為替差益	—	49
その他	41	48
営業外収益合計	258	194
営業外費用		
支払利息	3	14
貸倒引当金繰入額	0	—
為替差損	66	—
支払手数料	7	6
投資事業組合運用損	—	7
その他	6	4
営業外費用合計	84	33
経常利益	2,986	1,491
特別利益		
固定資産売却益	—	4
投資有価証券売却益	—	9
特別利益合計	—	14
特別損失		
固定資産売却損	2	0
固定資産除却損	8	11
特別損失合計	11	11
税金等調整前四半期純利益	2,975	1,494
法人税、住民税及び事業税	878	550
四半期純利益	2,096	943
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,096	943

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	2,096	943
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	316	560
為替換算調整勘定	△235	△20
退職給付に係る調整額	17	24
その他の包括利益合計	98	564
四半期包括利益	2,195	1,508
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,195	1,508

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、移動自粛要請や渡航制限の影響を受け、当社グループの営業活動も限定的にならざるを得ない状況が続いています。

このような状況は、当連結会計年度中は続き、翌連結会計年度より徐々に正常化することを仮定して、会計上の判断を行っております。

なお、新型コロナウイルスによる経済活動への影響は不確実性が高いため、上記仮定に変化が生じた場合には、将来における財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	装置事業	サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	24,388	4,472	943	29,805	—	29,805
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19	137	1	158	△158	—
計	24,408	4,610	945	29,964	△158	29,805
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,429	443	△63	2,809	2	2,812

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、のれんの金額に重要な変動はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	装置事業	サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	20,726	3,952	1,847	26,526	—	26,526
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18	162	1	182	△182	—
計	20,745	4,114	1,848	26,708	△182	26,526
セグメント利益	1,073	191	64	1,329	1	1,330

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、のれんの金額に重要な変動はありません。